



徒会新聞 NO. 4



令和2年8月5日
蒲刈中学校
生徒会

8月3日(月) いじめ撲滅あいさつ運動

～仲間を大切にする集団づくりのために～



出発式あいさつ 生徒会長 小寺 塑良

これからいじめ撲滅あいさつ運動を行います。自分が作成したいじめ撲滅標語をもって、各バス停であいさつをします。生徒会を中心にみんなで協力してがんばりましょう！



8:10 スタート!(向小市の浜バス停)



おはようございます!

通行する方に
元気にあいさつ



ゼロ
いじめを0に!

いじめ撲滅標語を持って
呼びかけ



表彰式 “いじめ撲滅標語”

最優秀賞

1年 渡邊 勇蘭

優秀賞

2年 花浦 陽乃

優秀賞

3年 小寺 塑良

生徒朝会あいさつ

副会長 村上 はるな

みなさんお疲れ様でした!これからもいじめのない、よりよい学校にしていきたいと思います。



いじめ撲滅運動

～道徳の授業～

1 年生

「さかなクン」が中学生のときにいじめに接した経験を通して、いじめについて考えました。「いじめについてどう思うか」という問いに対して「いじめは小さなことからだんだん大きくなっていく」「ときには人の命を奪ってしまう」などいじめは絶対にしてはいけないという意見がたくさん出ました。いじめのない楽しい集団にするために外の広い世界に触れる機会を持ったり、優しさや勇気ある行動を一人一人が心がけることの大切さを知ることができました。



2 年生

物語の主人公「ヨシト」がまわりの人から「空気が読めない」と悪口を言われていることについて「空気を読む」とはということかについて考えました。また2014年にいじめで自殺した生徒の作文を読みました。作文には『空気というのは雰囲気という意味。いじめをしなければ自分がやられてしまう。いじめに参加しないといけないという空気・・・空気（雰囲気）は目に見えないから恐ろしい。みんなが親友になることが、この問題を解決するただ1つの方法だ』と訴えています。



大勢の人の言うことが常に正しいのではなく、「正しいことをする」という気持ちを持って自分で判断することが大切だと授業を通して感じることができました。いじめ撲滅標語にも「友達を大切にしたい」「いじめをみつけたら自分が止める」という気持ちが込められていました。



3 年生

いじめがどういうもので、いじめを受けた人はどう思うのか、いじめをする人といじめを受ける人、両方の立場に立って考えました。グループに分かれて、どうすればいじめがなくなるのか話し合い活動を行いました。「自分の思いを言うことができる場を設ける」「話しやすい環境を作る」「相手の気持ちを考えたり、大人など周りの人に伝える」など自分の事として真剣に考える姿が見られました。



生徒の感想 一部紹介

いじめはゼロにはできないかもしれないけれど、少なくすることはできると思うので、見たふり聞いたふりをするのではなく、陰からでも、その人に寄り添ってあげられるようになりたいと思いました。

